



マダニにご注意ください！



ダニにかまれることによって、感染症になることがあります。

徳島県では、「じゅうしやうねっせいけっしょうばんげんしょうしやうこうぐん重症熱性血小板減少症候群(SFTS)」「にほんこうはんねつ日本紅斑熱」「むしびやうつつが虫病」の発生が確認されています。

ダニにかまれないことがとても重要です！（※食品や寝具に発生する屋内に生息するダニとは種類が異なり、マダニは草むらや藪などに多く生息しています。）

★畑、野山、草むらなどで活動する場合のポイント★

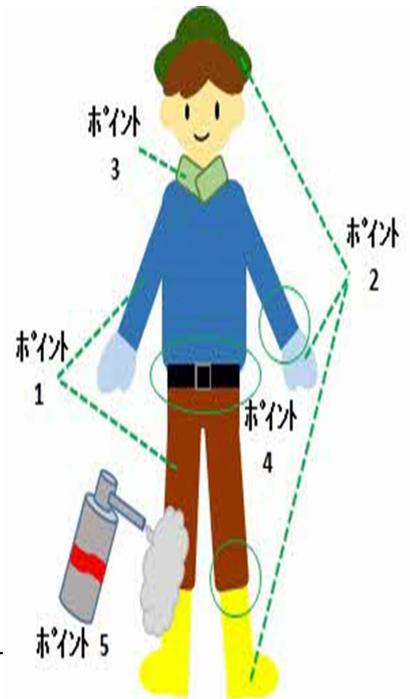
ポイント1 長袖・長ズボンの着用

ポイント2 帽子・手袋・長靴の着用（服や靴は、明るい色で滑りやすい素材を選ぶと、ダニが付着しにくく、付着しても見つけやすいです。）

ポイント3 首はタオルを巻くか、ハイネックを着用

ポイント4 袖口は手袋に入れる、上着の裾はズボンに入れる、ズボンの裾は長靴に入れる

ポイント5 ダニ類に効果のある虫よけスプレー（ディート、イカリジンを含む）を補助的に使用
（※製品や発汗等の影響で持続効果が異なります。
虫よけリングや虫よけパッチではマダニを予防できません。）



その他にも、次の点を心がけましょう

- ・タオルやぬいだ上着などは直接地面に置かない
- ・地面に直接座ったり、寝転んだりせず、敷物やイスを使う

活動した後は・・・

・ダニにかまれていないか確認しましょう。特に、わきの下、足の付け根、手首、膝の裏、胸の下、頭部（髪の毛の中）などがポイントです。ガムテープを使って服に付いたダニを取り除く方法も効果的です。（☆ダニにかまれても、痛みやかゆみはあまりなく、気づかないことが多いようです。）

ダニにかまれたら・・・

マダニは満足するまで数日間以上吸着し血を吸い続けるので、見つけたら早めに取り除くことが肝心です。できれば病院（皮膚科）でとってもらうのが無難ですが、自分でとる場合、つぶさないよう先の細いピンセットなどでつまんで取り除きましょう。（つぶすとダニの一部が体に残ったり、病原体が侵入したりすることがあります。）

ダニにかまれたと気付かないこともあるので、野外で活動した数日～2週間後に、疑わしい症状（発熱、発疹、嘔吐・下痢等の消化器症状等）が現れた場合は速やかに医療機関を受診してください。医療機関を受診するときは、「野山等に出かけた」または「ダニにかまれたかもしれない」ことを伝えてください。（ウイルスなどの病原体をもつダニは一部です。かまれたら必ず病気になるわけではありません。）